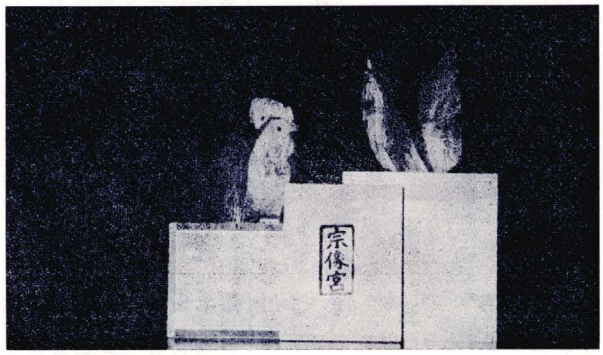
宗像

毎月十五日発行
発行所
宗像大社
宗像会
福岡県宗像郡玄海町
電話 09406 ② 1311 代
定価 一年送料共 1000円

迎春



新春を迎えて

宗像大社
宮司　葦津嘉之

全国崇敬者のみなさま

明けましておめでとうございます

昭和五十六年の年頭に際し、神郡宗像の聖地より、つつしんで皇室のいやさかを寿き、併せて皆さまの、ご多幸をお祈り申し上げます。

昨年十一月八日は、全国各地の崇敬者の皆さまによる、格別の御奉賛により、美事な神宝館が予定通りに完成し、無事落成式を挙行することが出来ました。

開運初の新年を迎え、ここに改めて御奉賛を賜わりました各位に対し、心から厚く御礼の御挨拶を申し上げます。

おかげさまで、開館以来大変な好評をいただき、毎日多数の拝観者で賑わっております。

特に沖ノ島古代祭祀神宝の人気は格別なもので、NHK、民放各社のテレビ取材、各新聞社の報道等、盛んに行なわれ、関西や関東など、遠来のお客様も多く、まさに神島、沖ノ島古代祭祀ブームと云われるほどになりました。

どうか今後共、皆様の御協力によりまして、より良き神宝館の運営が出来ますようお願い申し上げる次第であります。

——◇——◇——

毎年、年はめぐってお正月がやって参ります。

新年は一年中で一番清々しく、心身共に改まる大事なひとときであります。

年末にはどこのご家庭も大掃除をなさいますが、これは単なる建物の掃除ではなく、身心共に洗い清める大事な大祓（おおばらい）の行事であります。

そして玄関には門松を立てますが、これは新たなる年神様をお迎えする大切なみまつりであります

注連縄（しめなわ）は新らしい神様をお迎えする最もふさわしい場所の証（あかし）として示すものであります。

お屠蘇は正月、いただける特別の御神酒であります。

お年玉は魂（としだま）であり、新しい年の神々の御魂を、お互にあたえ合うものであります。

私達は毎年新年になると、このような行事をくり返えしますが、これは単に年が代ったという区切りの行事として行なうのではありません。

それは神祭りに始まり、神祭りに終る日本の大切な伝統行事であり、このように新らしい年の第一歩から神祭りに始まる日本人の敬神生活は生活の一こまとして完全に溶け込んでいるのであります。

近頃は、お正月は静かなホテルで、お正月は海外で等々のコマーシャルをよく耳にしますが、これはいかがなものでしょう。

少なくとも、元旦の一日だけでも、家族揃って新年を迎え、家内の安全、無病息災に感謝したいものです。

わが国は神のまろなり神祭る
昔の手ぶり忘るなよゆめ
明治天皇御製

〈御案内〉

NHK総合テレビで神の島（沖ノ島）放送さる

〝古代からのメッセージ〟「海の正倉院」

玄界灘を制した宗像海人族は、宗像三女神を奉し、北部九州と朝鮮半島を結ぶ「海北道」に君臨する氏族であった。

四・五世紀の頃、日本を統一した大和朝廷は、大陸文化を導入し文化国家として成立していったが、航海術にたけ海域を制覇している氏族のおまつりする島、〝沖ノ島〟を神の島とあがめ国家祭祀を行なっていた。

今日も神秘の島として注目を集めているこの沖ノ島をこの度び、日日の協力により総合テレビで〝古代からのメッセージ〟「海の正倉院」として取り上げ、日本の歴史解明と二千年のミステリーにいざ放映いたしますのでお知らせ致します。

記

放送　NHK全国放送
日時　二月十一日　水曜日
（建国記念日）
午後十時より三十分
題名　「海の正倉院」

二月十一日には
国旗を揚げ
建国記念日を
祝いましょう

論説　めぐるえと「とり」

ね（子）から始まる十支、今年は酉で十二支の終番に近くなった。日本人の暦生活に「えと」は離れられない長い伝統がある。それに信仰がまつわる暦生活の因縁は、浅から必事情や関係が胚胎することになる。

動物のりを酉年の干支主役と見て、鳥類に就いても窺すると、種々の面白い話題が浮んでくる。

猛獣に対して挑戦する密林原野の鵰や鷲は、猛禽類と称して別格に扱うが、雀燕鳩鴉、これらと同じ体族の所謂小鳥が山林人家にまで羽を伸ばしている。鷲は農村でも今日では見難くなってきた。人間の開発、機械化それに伴う化学資料の使用に駆逐されて、深山幽谷に生活の舞台が縮められてきた。筆者は若い頃召集されて大陸の戦場にいたことがある。その時の想い出を少し挿もう。

連日の厳しい暑さの中の行軍に、軍服は汗に汚れて乾く暇もない時、ある部落のクリークで休養していた。近くに誰も居ない。突然頭上の空が暗くなったので、驚いて見上げると一羽の大鷲が舞い降ってきた。筆者は危険を感じたが、彼の狙いはクリーク上に浮く鼠の死体で、素早く両肢の爪でそれを掴み取ると上空に消えて行った。瞬間的に展開された大鷲の食物取りであった。

「無雀、安んぞ鴻鵠の志を知らんや」と史記に書かれている。鳥の大小を論ずる形ではあるが、人間界に於ける才器を鳥類に姿を借って表現したに過ぎない。鳥の才器は姿だけで大小は論じ難いが、群雀に大鳥の気構えもあるまい。

然し、わが児に対する強い愛情が、才器を湧発させる話を無の逃げ方に聞かされたことがある。小枝の落ちた喬木、海岸や孤島などに見かけるが、下方の草むらがよく小鳥や鼠など往来する処では枝葉のない喬木がよい。鷹鷲などの猛禽が草むらの獲物を狙っている。この時、附近に巣をもつ雉が帰ってきた。口に餌をくわえているのは巣内に児雉が居り場合である。雉は恐るべき敵の存在を知った。

児雉の待つ巣とは反対方向に、敵の注意をわざと求めて羽ばたきしつつ地上を走る。敵が襲わない確信が持てるまで、逃げ方に変化があり、愛情発揮に才器は百分働く。

鶴が飛来する里が、九州・山口県にあるが、彼らは水田の鮒鰌の類が目的で遊びに来るのではない。毎年秋冬に降る氷山はきまっている。餌が特に気に入ったわけでもなく、観光に一役買っているためでもない。シベリヤ等の極島地漂結で生きられぬからである。

逆に日本の群鳥がソ連領に行く慣習もある。宗像大社の沖ノ島に住居おがちと呼ぶ海鳥が群棲する。島の密林に奇怪な啼声をあげて、夜通し騒がしく新規の島客はとても眠れない。東が白む頃には一羽も残らずソ連領に魚を求めて旅ぶ。

鳥には国境も三百浬もない。人間界の面倒な事情がわかったとしたら、憐笑するかも知れない。おがちよ、遠慮なくシベリヤ沿海州浜辺の魚を食って来い。そして神島の密林に楽しく集れ。

平和の象徴として鳩を指す。筆者は鳩がすべて平和な鳥とは思わない。福岡市内の病院に起居してそれを知って驚いた。朝になると近くの患者が、窓際に来る何羽かの鳩に餌を与える。

片目の鳩と跛の鳩が沢山悪く、窓際で毎朝のように啄み合う。他にも何羽か居るが、この二羽がボスである。餌よりも敵で、時折啄み合ったまま消えて窓から廊下に落ちる。それでも離れない。執念のこもった汗労で、とても平和の鳥と敬愛するわけにはゆかぬ。

魚群を知らせる鳴は、海辺の漁師の味方で、死斗する鳩よりはましである。鳴の動きが船の用意を誘い、漁家の家族に一網数百万円の希望を持たせる。「一獲千金」の言葉の通りで、それが近来若者の離村の防止に一役買う。

浜千鳥も海辺の景物として、古くから親しまれている。浜辺に餌をあさって消遥する姿は、山里に住む人には特に歓心を起こさせる。ところが千鳥消遥の姿が、夕暮時自宅までの途中の縄のれんや赤提灯から現れるのは、感心されない場合が多い。気の合った同僚や友人と肩を組んでの千鳥足、昔の街なかよりかったが今の交通事情では地獄の一丁目散策である。

筆者も千鳥足ではあるが、大きな顔もできない。戦場でよく飲んだ。それが災してひどい胃潰瘍にかかったこともある。今も悔みの一つ。

昭和五十六年　1981

交通安全宗像大社の　御神徳をたたえ奉りて

謹んで新年の御祝詞を申し上げます

愛される車をめざして TOYOTA

福岡のトヨタグループ

福岡トヨタ自動車株式会社
取締役社長　金子宜嗣
福岡市中央区渡辺通り4丁目9番25号　電話代761-3331

トヨタカローラ福岡株式会社
取締役社長　金子宜嗣
福岡市中央区長浜2丁目1番5号　電話代712-7111

トヨタオート福岡株式会社
取締役社長　金野宗次
福岡市博多区竹下2丁目2番31号　電話大代(092)411-5511

福岡トヨペット株式会社
代表取締役　鈴木快康
福岡市博多区東光1丁目6番13号　電話代411-1121

トヨタカローラ博多株式会社
取締役社長　久恒鑛造
福岡市博多区豊2丁目3番50号　電話代411-2111

トヨタオート北九州株式会社
代表取締役　中村武文
北九州市八幡西区皇后崎町14番6号　電話代642-2111

年頭の辞

宗像大社氏子会長　中村清之

昭和五十六年の新春を迎え、皇室の弥栄を祝福すると共に、宗像大社の神徳益々発揚されることを希い、神郡宗像の氏子皆様の御健勝と御多幸を祈念致します。

本年は紀元二千六百四十一年、西暦千九百八十一年に当りますが、最近学者や新聞は八十年代は世界の情勢は如何なる変化を来たすかと大変懸念した事を述べて居ります。我が国の世界に於ける立場、又現在の国内の状況から観察した場合、決して安心すべき有様ではない事は予想されます。

新聞及テレビの報ずる処に依ると、憲法問題に就いて国会に於ける鈴木総理の意見では、現在の憲法を守り、改正する意志の全くない事を再三再明されて居りますが、現在の憲法が果して我が国に適当なものであるか判断しがたい点が、多々あることを感じます。

第九条の軍備の問題は最も重要と思はれるが、此の件は専門の知識を持たない者が論議することは余りに重大である為め触れない事に致しますが、現実の問題として我国の北方領土四島に対するソ連の軍備を如何に解決されるかと不安を感ずるものであります。

教育の問題に就いては、戦後の教育が日本の国情に適当であるかと考へる時、決して良いとは思はれない多々の現実を発見することが出来ます。

現在の六、三制の問題、男女共学の問題等、研究を要する点が多々あります。

数年前福田内閣の時、国会に於て、共産党の某代議士が、教育勅語に関して、非難的な質問をした時、福田首相の毅然たる応答で、「教育勅語に対する欠点を指摘せよ」との答辞に対して、某代議士は一言もなく引下った事を記憶して居ります。

日教組は国旗の掲揚と国歌の奉唱に就いて、反対をして居りますが、大東亜戦争の敗因は国旗でも国歌でもなく、他の原因であることを知って戴きたい。

世界二百余国の中、国旗と国歌を尊敬しない国はありません。日本だけが何故に国旗と国歌を除逐するのであろうか、外国に旅行した時、自国の国旗を見た時、真に力強さと感謝を覚える事は当然の事と思はれます。

神社本庁に於ては国の祝祭日には国旗の掲揚を奨励して居りますが戦後三十五年を経た今日猶国旗の掲揚される家は、大変少く真に残念でなりません。

近年青少年の非行、又一般社会の道義の荒廃、又愛国心の欠如等、教育の偏向に依るものと考へられることが多く、所謂道徳の退廃は学校と家庭及び社会、三者の平常の指導に依り善処すべきと思います。

国民大多数希望の清国神社国家護持の問題も事だ判然としない状態であります。

我国に於ける民主主義の解釈も利己的な主張が公然と行われ、他人の人格を尊重しない民主主義は、ありえないと考へます。

憲法第二十四条の財産均等相続の問題ですが、其為めに、日本古来の美風であった種々な制度は崩壊し、長男が親を扶養する義務はなくなり、甚だしきは親は同人かの子供の家を盥廻しとなり、後には止むなく養老院に行くような事も稀に見掛けます。

又農家の場合相当量田畑の所有家でも、数人の兄弟が均等に相続した場合全部が零細化して転業をせざるを得ない場合も起ります。

昨秋十一月八日大社神宝館落成式が行われ、数万の国の重要文化財を公開され、宗像大社の尊厳さと歴史の古さを深く感じます。

我が神郡宗像の氏子は益々大社を崇敬し、且神徳を願い、国民として又氏子として立派な人格者であらねばならぬと感ずる次第であります。

新春の御挨拶

宗像郡町村長会長　高橋半三

昭和五十六年の新春を迎え、宗像愛読の皆様に年頭の御挨拶を申し上げます。

日本最国の祖神天照大神の御子神様宗像三女神が私共の郷土玄海町に鎮座しますことは郷土の誇りであり、光栄これに過ぎるものはなく、父祖伝来奉仕し来り し処であります。

爾来宗像郡民は宗像族として又神郡宗像大社の総氏子として仕えまつり、悠久三千余年人情・風俗豊かに伝統を築き、歴史となりて宗像教育の根源を培って来ました。宗像族の崇敬し来り し宗像大社も祭祀以来幾多の変遷を経て来ましたが、昭和十七年宗像大社復興期成会が結成され、大東亜戦争にて中断の止むなきに至りましたが、昭和四十一年永年の歳月を費した宗像神社史の完成と共に、昭和四十四年世紀の大復興計画が宗像大社復興期成会長出光興産店主昭光氏により画められ、金世界に浄財を求められて本殿の改体修理を初めとし、斎館・祓舎・手水舎等次々に新築され、昭和五十年第二宮・第三宮の遷座祭も斎行され昨年十一月には、宗像大社古代遺跡の象徴なる沖ノ島出土品展示の神宝館の落成を見、又猶衛舎(日社務所)跡には靖国神社の行幸殿の移新築も計画され、既に整地が完了している。

宗像大社は全国に六千余社を奉斎する本宮として、又交通安全の守護神として全宮が完備されたことは、真に感激に堪えない次第であります。宗像三女神の鎮座されます吾が宗像郡は人口十万余人、北九州・福岡百万都市の中心にあり、四塚連山・玄界灘・白砂・青松の阜月松原等 都塵にまみれし人達のいこいの場である。此の景勝の地をベットタウンとして開発することも神威に応える所以であろう。斯って地方自治体の財政事情は年毎に窮迫して、国・県の財政援助と広域行政の企画以外に多様化する地域住民の要望に応える道はない。

『宗像の心は一つ』宗像郡内においても消防組合・清掃施設組合じん介処理組合等の発足があり、水道企業団による水資源のダム建設も着工された。県出先機関の統合庁舎も計画されている。乏しき財源の下、限りなき住民の需要に応えるは、只広域行政施策あるのみである。

吾が宗像郡が都市化の傾向にあり、新旧住民の教育・文化・思想に夫々の時代的相違は生ずるといえども、本来宗像大社の総氏子として奉仕した往時の心に帰り、『宗像の心は一つ』地域発展のため、考える秋が来たのではないだろうか。

『宗像』愛読の皆さまの御健勝を祈り、御挨拶と致します。

謹んで新年の御祝詞を申し上げます

昭和五十六年元旦

宗像大社氏子会
宗像大社氏子総代会
宗像大社沖中両宮奉賛会

宗像大社責任役員会
代表役員　菫津　嘉之
責任役員　出光　佐三
責任役員　吉本　弘次
責任役員　中村　清之
責任役員　立石　昇
責任役員　河野　幸人
責任役員　占部真太郎
責任役員　小畑　初雄
責任役員　宇都宮　弥
会長　中村　清之
副会長　立石　昇
河野　幸人
小畑　初雄

監事　黒石　雅資
吉田　寿夫
脇野　十郎
尾嶋　肇

事務局(宗像大社々務所内)
幹事長　石橋　清寿
幹事　堤　宏
高向　正秀
渡辺　秀丸

宗像大社沖中両宮奉賛会
会長　河野　幸人
副会長　佐藤　鶴吉
遠藤久一郎
原　藤雄
沖西　彰

謹んで新年の御祝詞を申し上げます

昭和五十六年元旦

宗像大社社務所

名誉宮司　久保　輝雄
宮司　菫津　嘉之
権宮司　宇都宮　弥
祢宣　養父　守
禰本　正
宗像　清文
権祢宣　太田　可愛
斉藤　惇
升谷　勝良
大野　宗康
山田　幸雄
神島　定
松本　肇
石橋　清寿
堤　宏
東　弘
高向　正秀
出仕　戸高　八徳
玉木　正之
渡辺　秀丸
局員　河窪奈津子
川井田成子
巫女　花田　博美
大森久美子
森　郁子
市津　裕子
河野つたえ
北野　重子

巫女　小野三恵子
柴田　明美
力丸　洋子
占部智恵美
島田　敦子
萩原恵美香
雇員　深田　玲子
永野　美鈴
傭員　渡辺　和夫
大西　長生
大西喜三郎
吉武　隆則
花田　清巳
嶺　千鶴子
吉田タミ子
大西　松枝
目原ヒサエ
広橋　康子
中野　富子
警備員　高松　繁
橘　一幸
宝物館嘱託　真武　五郎
堺　豊三郎
石井　忠
藤川　義宣
歌道講師　中村　吾郎
茶・華道講師　小方　百枝

阿蒙少言

悠久の過去から、永遠の将来にかけて、大自然が夏冬盆正月と区切りを定めたわけではない。人間が生活の必要上区切りをつけたなければ困るに違いない◉春、若芽が吹き、秋、枯れる。生れ出た、去って消えた。如何に大事業を完成して世人の賞讃を浴びようとも、如何に罪悪を積んで痛罵されようとも、人生は一度だけ。大自然にどんな変化が巡っても、消えた人物の出現はない◉そこで縁起をかついで黄道吉日に結婚の式を挙げ、初詣での賽客となって社頭の鈴を振る。これらのお定まり手順を果さなかったからといって神仏は此言を垂れない。宗教的信条も、高遠哲学仙哲の類は別として、凡夫は社頭の鈴に誘われて成長する◉漸次複雑の度合いを加えてゆく世界情勢、政治的支配権を持つ各国主脳の労苦も大変であろう。国家により地方によって、利害相反する場合が増加してきた。人種的離合集散の現象も天候の推移のように絡む。老齢病弱等の理由で、政治の座を去った人、死去を報られた人、やれやれこれで安心だと叫びたかろう◉昨今地球から消えた各国主要人物、地下でこれで安心したと微笑を洩らしている気がする。ソ連のコスイギン首相が辞職してまだ日も浅いのに、国界識が燃えていた記事があった。唯物主義で宗教否定の彼等にも葬儀のやり方には注文が出ると見える◉死亡の報道が一日半遅れた理由に、ブレジネフ書記長の謹告見て遠慮して延期したとあった。何だか不似合いな縁起をかついだ感がある。唯物主義は神仏は認めないが、個人の心霊の実在は否定していない経緯が看取される。どちらも当方に関わりはないけれど、犬猫と同じ扱い方のない点より◉将来、勝手気儘主義が国境人種風習超えてはびこる風潮を誘うだろう。どんな風潮が若者を支配しても戦火は一発免。(白雲)

昭和五十六年　1981

交通安全宗像大社の　御神徳をたたえ奉りて

謹んで新年の御祝詞を申し上げます

福岡日産自動車株式会社
取締役社長　石金博隆
福岡市博多区千代1丁目21番37号
電話(代)641－3161

福岡日産モーター株式会社
代表取締役社長　伊藤隆治
福岡市博多区東比恵2丁目14－33
電話(代)441－2323

日産プリンス福岡販売株式会社
取締役社長　岩永政定
福岡市中央区平尾3丁目5－3
電話(代)581－9561

NISSAN

――今年も安全運転を心掛けて下さい――

日産サニー福岡販売株式会社
代表取締役社長　小田切忠夫
福岡市博多区半道橋1丁目9番10号
電話(代)411－4132

日産ディーゼル福岡販売株式会社
取締役社長　中尾一郎
福岡市博多区榎田1丁目4番3号
電話(代)411－1831

日産チェリー福岡販売株式会社
取締役社長　金森清
福岡市博多区半道橋1丁目10番10号
電話(代)471－1123

―年頭によせて―
精神文明の創造を

福岡県議会議員
伊豆善也

あけましておめでとうございます。

こと昭和五十六年は、紀元二千六百四十一年。西洋歴で一九八一年を数えますだけに、いずれもが新時代の幕明けにふさわしい意義深い節目の歳に当ります。

それだけに、充足した一年となることへの期待が大きい新年といえましょう。

顧みますと、その年頭にあたり同じこの紙面で〝動乱の予兆厳しい八十年代入りの今年は、宗像にとっても転機の年〟と申し上げた昨年は、みなさんが既にご承知のように、国内的には国会解散、大平首相の急逝、鈴木内閣の誕生といったあわただしい政局の流れの中で、近代未曽有の冷夏・長雨に患いされるという試練の日々が重なりましたが、外的には、イラン―イラクが戦火をひらいたのにづいて、身近かなところでは、アメリカの大統領選挙で共和党が圧勝するといったように、内外情勢の揺れはまことに厳しいものがありました。

国民経済もまた、インフレの脅威を前に一進一退する景気・不景気と、恒常化したエネルギー危機の狭間にあって、八年前に起きた第一次オイルショックいらいの経済不安に晒されてきました。

石油の枯渇論争につながるOPEC（石油輸出国機構）の原油価格値上げは六度を超え、イランの宗教革命とソ連のアフガニスタン侵攻、インドシナ難民の悲劇、中東・東南アジアの動乱、加えて韓国の政治――はじめにも触れましたように、騒然を極めたこのような七十年代からの好ましからざる遺産は、新しい年を迎えてきっぱりと拭い去りたいものです。

その意味で、私たちに課せられたものは何か―

それは、やはり英智を傾けて代替エネルギーを開発する一方で、国際間の緊張を緩和し、世界平和を保障する南北問題の解決にあたりながら、国内的には、物質万能の文明から脱却して精神文明の創造への時流を大切にし、併せて、中央集権の時代から「地方の時代」―「社会福祉の時代」へと移行しなければならないということでしょう。

つまり、地域住民のコンセンサスを得る価値ある地方自治の確立がそれですが、私たちはこのために統治能力を養い、子々孫々に豊かな遺産を残す努力を続けてゆかねばならぬと思うのです。

私は、この観点から新しい時代に生きる県会議員としての責めを果してまいりたいと存じますが、その行動の核となるのは、やはり〝教育の正常化〟であり〝日本人の心の復活〟です。

改めて申し上げるまでもなく、郷土の祖神「宗像大社」を訪れるたびに垣間ゆる参詣者の姿から、私は「敬神崇祖」「互譲互助」「感謝」の心に洗われた気高さを感じ、胸をうたれるのですが、顧在しているか、潜在しているかの相違はあっても、人間は本来「善」であるといった、日本人に伝承されてきた〝ところ〟を、より強く正しく大きく育てていくためにこの一年を熱心熱心で頑張ってまいりたいと思います。

金郡的には、釣川の支流を含めた河川改修、ほ場整備、水資源の確保、すでにスタートしている光陵高等学校の福間開校、国鉄・赤間駅の駅舎改築問題など山積していますが、市制施行をめざす宗像町をはじめ、四町一村に逞ましいひろがりをみせている新旧住民の融和、ゆたかなコミュニティ建設に微力を傾注する所存です。

年頭にあたり、みなさんのご多幸ご健康をお祈りし、一層のご指導をお願いしてごあいさつとさせていただきます。

奨学生の参拝記
十年一辛抱

旧臘三十一日、屈強な好青年が大社を訪れてきた。受付の話によるとかつて当社の奨学金を受給し、元気に勤めているのでお礼に来たと云うことである。

七年間学生服で当社に来ていた大島村の佐藤清貴君である。

未だ当時の童顔が残っているが、誠に立派に成長した彼に、懐しさと嬉しさで何んとなく、目頭が熱くなる思いであった。

佐藤君は、色々とお世話になりながら、お礼に参上するのが遅れ本当に申訳ありませんでした。中学校卒業以来十年、一生懸命わき目もせず頑張って来ました。その甲斐あり今では結婚し一子をも得、本当に妻子共々健康で幸福に生活して居ります。

今更ながら大社のお蔭と深く感謝して居りますと、真に涼しい瞳を見せてくれました。

彼は昭和四十八年に、福岡工業高校を卒業し、青木建設株式会社（本社・東京）に就職し、土木部で各地を回り、現在京都作業所に勤務し河川改修、宅地造成等長期に亘る工事ばかりに従事して居るそうです。

歳末折角の休を費し、当社を訪れ些少でございますが後輩の為にお使用下さいと、金一封を置いて辞去する佐藤君の後姿を見送り、一層の幸福と健康を祈らずには居れなかった。

――◇――

宗像大社奨学生のみなさ様の御健勝と御多幸を祈ります。

尚ご近況をお知らせ下さい、編集部ではお便りをお待ちしております。

［宗像］編集部

スポーツの道、日本再建の道

福岡県議会議員
花田新太郎

十月三日宗像大社において秋季奉納剣道大会がひらかれました。参加選手は大部分が小中学生でしたが、高校、大学、一般の部あわり総数五〇〇名を越え、審判員や記録、計時、進行、事務の係員を加えると約五〇〇名が参加するという大きな大会でした。

私や玄部一義先生（故人）が戦后まもなく第一回の宗像郡剣道大会を宗像大社でひらいたときは参加者が四〇名ばかりで審判の私たちも交互に試合を行いました。三〇年余の歳月がたちましたが、この盛会を非常な感激をもって見つめました。

今日の剣道は通常体育館や道場の板ばり床で行いますが、この奉納大会は大社のよく手入れされた砂庭で行われています。いわゆる野試合です、野試合は剣道の原点ですが板の間とちがって反動（スプリング）がなくむつかしく、つかれるのですが当日大社は終日元気な選手のかけ声と数百の応援の父兄の拍手とから声でつつまれました、そして試合は順調に一人のけが人もなく終了しました。という意味は試合は主催者と選手の連潔がよく、剣道の基本通りの礼儀が正しく、かつ斗志あふれる好試合が行われたということです。だからだらした試合は時間が長くなり、けが人が続出するものですから。

私は終日さわやかな、はつらつとした好試合をながめながらこの青少年に非行の影はない、明日の日本を背負う立派な人になってくれるだろうという期待感、さらに確信のようなものを感じていました。私も小学校五年生から今日まで剣道に親しんできましたが、剣道は決して面白い、楽しいだけのスポーツではありません、むしろ日々辛抱、がまんの道です、わずかに自分のおく病ない、怠惰な心に勝ち、自分の真進を自ら感じたとき何ともいえぬさわやかさを感じるという道です。その道を沢山な宗像の青少年が懸命に歩いているわけですから意義深いといえましょう。

昨年の我が国は七十二兆円の借金を背負う財政難、軍備増強の問題、増税、スタグフレーション、少年非行激増の問題などむつかしい問題が噴出して大変な事態をむかえています。どの問題一つをとりあげても国の興廃にかかわる大問題ですが、私は最も緊急にして全国民的課題は少年非行激増の問題だと思っています。

警察白書、厚生白書、ここ最近では総理府の青少年白書など政府の統計がつぎつぎに出され戦后最悪の青少年犯罪の激増を数字的につたえています。しかしその原因と対策には強く言及せず単に警鐘を乱打するにとどまっています。

さらに保険目あてに妻を殺害する人、子供を殺し屋に絞殺させた母親、麻薬の汚染など混乱は青少年の場だけではありません。まさしく我が国は病んでいます。重病人と考えねばなりません。しかもその責任をそれぞれが感じることなく他に転嫁する意見が沢山あります。教育現場の荒廃を無気力な父親のせいにしたり、教師の責任にする議論などがありますが、こんな無責任な考え方で国全体の病気がよくなるはずはありません。精神面を見落した経済成長、学歴編重の社会機構、受験戦争、低学年からの選別的教育の実態など沢山な悪循環の上に病んだ社会があると思います。

平凡なことばですが「健全な身体に健全な精神が宿る」といいます、間のびした意見のようですがおとなも青年も少年もまずスポーツに親しむことから始めなければならない。十二月の寒い日曜日の朝、私はは始めてゴルフセンターに行きました。顔がこわれる寒気の中で大ぜいの人がゴルフの打ち放しを行っていました、私はゴルフに対する偏見をすることにしました。自分があったスポーツに情んながとりくむ、その平凡な中に日本再建の道があるような気がする。

新年の御挨拶

宗像警察署長
田仲保之

あけましておめでとうございます。

皆様の御健勝をお祝い申し上げますとともに、旧年中の私どもに対します御協力に感謝申し上げます。

さて昨年実施されました国勢調査によりますと、宗像郡の人口は、一〇九一一六人でしかもなお膨張を続けている由、また本年四月には新生宗像市が誕生するなど活気に満ちていることは喜ばしい限りであります。

古い歴史と文化を伝える神郡宗像、玄界灘を望む白砂青松の美と豊かな海の幸、そしてこのような恵まれた環境の中で古くからの住民と三千有余をかぞえる新興団地の新しい住民が混然一体となって郷土意識をもりあげ明るく住みよい宗像をつくりあげていく……宗像ならではの情景といえましょう。

ところで都市化が進みますと、一方でその弊害が生じてくるのは避けられない現象ですが、昨年の「宗像犯罪白書」から特徴を拾ってみますと、◆新興団地を狙う侵入盗の増加、◆少年の凶悪犯や万引、自転車盗などの非行の増加、◆かくせい剤汚染の拡大、◆飲酒運転違反による人身交通事故の増加等があげられます。

犯罪は社会の縮図とも申します。

今年も内外の情勢は流動的で厳しいものがあり、そのハネ返りは治安の面にも少なからず影響をもたらすものと予想されます。

県警察はこのような情勢に対処するため本年の重点目標を、◆暴力犯罪の防止と徹底検挙、◆交通死亡事故の抑止、◆少年非行の防止、◆盗犯の防止と検挙、◆覚せい剤事犯の防圧、◆テロ、ゲリラの防犯と定め県民の信頼に応える警察活動を推進することにしています。

わが宗像においても、郡民の皆様の郷土愛に根ざした連帯感をバックに〝明るく住みよい宗像〟を目指して治安の万全を期してゆきたいと念じております。

皆様の御理解と御協力をお願い致します。

昭和五十六年　1981

交通安全宗像大社の　御神徳をたたえ奉りて

謹んで新年の御祝詞を申し上げます

福岡スバル自動車株式会社
取締役社長　中井隆
福岡市博多区東光二丁目六番八号
電話代表 411 八一三一番

福岡いすず自動車株式会社
代表取締役　山下哲也
福岡市博多区東比恵二丁目十六番二十三号
電話代表 411 一五三一番

福岡ダイハツ販売株式会社
代表取締役　内山学
福岡市博多区東比恵四丁目十番十一号
電話代表 411 一三三一番

株式会社　マツダオート福岡
代表取締役社長　中島国彦
福岡市博多区東比恵四丁目九番十二号
電話代表 411 六〇三一一九番

福岡日野自動車株式会社
取締役社長　植竹陽介
福岡市東区千代六丁目一番六十六号
電話代表 641 一一七一番

九州三菱ふそう自動車販売株式会社
取締役社長　上田昇
福岡市東区箱崎七丁目七番二十七号
電話代表 641 八一八一番

宗像大社歌会 俳句作品集（三六）

久留米　入江　柳江
着ぶくれて手引かれ参る地蔵尊

福　間　広渡一寿軒
松竹を心と為して歳新た

津屋崎　井浦　良介
寒明けの海沿いの町産声聞く

田　熊　安部　ゆき
桔梗花吹かれやみしくふれ合へり

田　熊　力丸　一郎
初寅や森羅万象改まる

津屋崎　熊本　隼
三柱の千木金色の初日影

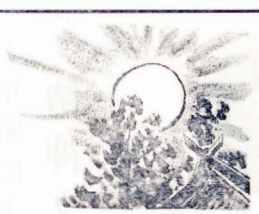
藤　沢　玄　洋　子
輪飾りを掛けて稿へ宮が愛車

名古屋　野崎　傳三
賽銭を咬み乾割れの餅餅

大　井　木原　房子
手袋の色に若さを強調す

宗　像　吉田　衿子
媛神のお旅や禁の上き流れ

八幡西　磯谷　緑南
鉄色ふまちに住み古り年暮るる



宗像青年会議所 創立五周年記念講演（二）

日本の心 ―その故郷の地にて―

黛　敏郎

では何せ、そんなに宗像大社が大事なお宮であるか、もちろん宗像大社は由緒の古いお宮でありますし、近在の方々にとっては、掛替の無い古い、大事なお宮であります。

しかし、それのみならず、日本の文化を考える上に、なぜ宗像大社がこんなに大事であるか、と申しますと、御承知の様に、宗像大社は三つのお社に別れております。で、三つのお社がみんなそれ違った御本尊をお祭りしている。

この三つのお社は、何れも天照大御神の三人のお姫様をお祭りして居るのであります。

その三つのお社の中で一番大事なお社はどのお社かと申しますと、申すまでもなく沖津宮でありまして、あの玄海灘の真っただ中にあります所の無人島である。あの沖津宮であります。

そして御承知の様に、その沖津宮には、先般来九州大学の学術調査団が長いこと苦労をこれて発掘をされました。

御神宝や祭祀の遺跡が沢山出てまいりまして、それが今度は新しく竣工なった「の神宝殿に修められて居ると云う事でありまして、私もこの講演が終りましたあとで、その神宝を拝観するのを楽しみにして居るのでありますが、この沖津宮が鎮座されているところの沖ノ島、これはみなさんが、もう良く御承知の通り御神体の島であります。

つまり、その島全体が御神体であって神様だと崇められている。

こう云う例はじつは日本でもあまりないんでありまして、いろいろ天地自然の物が御神体である例は沢山御座います。

たとえば、山が御神体である。或いは滝が御神体である。森が御神体である。岩が御神体である。と云う様に天地自然その物が御神体として祭られている例は沢山御座います。

しかし宗像大社の様に、島が御神体と云うのは、私しは他に知らないんです。

ほんとうに、これはもう天孫壮大と申しますか、まさにこのスケールの大きな御神体と云って差し支えないと思うんです。今でも父代でこちらの神職の方がお勤めになっていらっしゃるそうでありますが、この島には何も御座いません。かって測候所があったそうですが、今どうなっているのか私しは良く知りません。

戦時中は海軍の兵隊さんの居る施設があったと云う様な話しも伺いますが、今はおそらくそう云う様な物は無いでありましょう。

あの周囲が四キロある沖ノ島と云う文字通りの無人島に二ツの祠がある、この祠が実は大昔はこの祠は、おそらく私しは無かっただろうと思う。鳥居が今は建っていますが、あの鳥居もかなり後になって建てられた物じゃないかと思う、つまり島そのものが御神体であまして、今でも神湊の漁師さん達は、そうだそうでありますが、あの島にはよほどの事がないと近よらない、どうしてもの島に上陸しなければならない時は、冬の真中でも、全身真っ裸になって、ザブンと海中に飛びこんで、禊（ミソギ）をしてからでないと、あの島に上陸をしない、又どんなに禊をしても、女性の方はあの島に一歩たりとも立入る事を許されない。つまる女人禁制と云う古代さながらの掟が守られているんです。

そう云う話しを致しますと、日本全国、いろんな処々で、それをお聞きになる聴衆は、みんな一様にビックリされる。ホ一そんなことが今、日本にあるんですか、さっき先生がお話しになった、何んとか神社と云うのはどこですか、もう一度その場所を良く聞かせて下さい。

そこで、私しは事細かに、その宗像大社と云うのは、福岡から約車で一時間くらい走ったところにあって、神湊と云う港があります。そこからちょっと可いこんな処に辺津宮があります。その神湊から三十分ばかり船に乗って行くと大島と云う島がありそこに中津宮があります。

つまり、この様に島全体が御神体である、島そのものが神様であるる。島ほどではありませんけれども、日本の古い神社には、さっきも申しました様に、山が御神体と云う例はかなり御座います。

たとえば、奈良県にあります大神々社と云うのがそうです。オオミヤ神社とは大きな神の神社と書きます。

今は、三輪明神と云われて、大和一の宮として有名です。

――◇――◇――

この講演は去る十一月十六日の宗像青年会議所五周年記念講演で講話されたものを、テープより筆記したものです。

以下次号

謹賀新年

会員各位の御多幸を祈念申し上げます

昭和五十六年元旦

宗像大社　宮司　葦津嘉之
宗像大社歌会会長　立石　昇

第三回 宗像大社歌会詠草

毎月一日〆切　詠草到着順

吉　留　高山　信子
登山道作りに友と登り来し城山なつかし美男かづらも

津屋崎　内田　久美
誰が揚げし朝の恋紅一のぼら一つかね固き言の

戸　畑　田中ハツセ
織初の絵柄にも見える緑青の浮き出し三三千年をへつ

千　葉　吉田　信夫
放送の天山の曲聴きれば遠き唐詩の旅愁湧き出づ

田　熊　今村　重刀
老いの眼に新聞記事の読みつらく テレビニュースを今日も聞きをり

福　間　二宮　末子
御来光むかえてなげる島の東天コッコー初春を告ぐ

曲　天野トモエ
「許見山の史蹟探ねて」この幾日 読みふけるなり君の著書にて

宗　像　片山　一
思ひ侘びさても命はあるものを三代のみ代遂に生きしし

香　椎　桜井　ツ子
人混みに小母さんなれば振り向く 吾も小母さんなれば振り向く

武　丸　原田まつ代
師走風肌寒き宵静かなり雲間越よぎる月の鏡とし

日の里　清原　絹代
岩盤の切通し朱色の明るくてしばらく続くシドニーへの道

箱　崎　吉村　三郎
歴士は黒く漏りて国まりぬ砕けば匂う雷解けの朝

福　間　広渡一寿軒
生き形見なと用意して久に来る孫待つ八十三の正月

田　熊　吉田　直志
新築の木の香のみつる子の家をあかず眺むる遠く訪い来て

田　久　立花　勇雄
水仙る花すがすがし残雪に花茎もたげて春を待ちをり

田　熊　鷺津かつ代
来む春を待つかたちして神木の梢はしづけき冬に入りたり

田　久　小方　実
朝日の前に先ず大猫に嫁与ぶ宗像大社の必なる孫

徳　重　石松や寿子
大雪に見舞はれしと仙台の市街見へをり子の住む家も

鐘　崎　村田　四郎
小鳥舞かけいし綴に道ひっけ坪七万と売地札たつ

福　間　藤田　肇
金子隊二百余名の凱成表西むは渺し四十年経ぬ

田　熊　力丸　一郎
古葉脱ぎし鎮守の森の大銀杏巽木りりしく雲に望ゆる

池　田　永富　臻
家系図の修理終へたる夜のくたち眼疲れて目薬を注す

土　穴　塚本　幾子
到着の遅れ報する宗港の電宗板見つ孫ら待ちおり

津　丸　松尾　豊
古きより新らきありて落椿野仏のあたり碧み知なし

東　郷　藤崎　辰子
停留所の二つがほどを歩きたり風に吹かれて野のバスを待つ

吉　留　白木うめの
宮詣り病院通ひと手を負ひて共に古りたる書物をほどく

宗　像　中村　幸
川岸は荒れ放てむか一酒団布なとを洗ひし石は何処

南　郷　片山　雀林
古色ある庭の落葉に風情あり氣あさり来る鳥の喜び

原　町　八波　五月
丹念に松の古葉をむしり居る夫の頭上に百舌ひたなまし

津屋崎　谷口　礼子
夜半ねめてしじまの中に物想ふその一とときそ己が命

名古屋　野崎　傳三
甲板の上より初日登きつつ玄海灘をわが船の航く

東　郷　田中　春子
立ち枯れし秋草のかげ雪割草は紅き角芽をつつくはふ

福岡南　林　まつえ
子に寝にすられて過ぎすおだやかな余命の日々は黄金の日日

八幡西　磯谷　緑南
負けいくさ起きたこの日に真珠湾攻撃に踊いたこの日よ十二月八日

田　島　吉武　武雄
ひやひやはあたり見廻わし憎らしく正月用の南天啄む

田　島　越智　治子
おいわずの島のおきては今も尚漁人らに守られており

武　丸　立石ろせ乃
湯の街を二人の吾娘に寄り添はれ行く巣鶴者誕生日のわれ

深　田　中野　節子
雨つづく幾夜見えざる星を探し窓辺に寄れば虫の鳴くなり

賀正

松尚開発株式会社
福岡国際カントリークラブ
西日本最大のチャンピオンコース
福岡県宗像郡宗像町大字朝町
電話 〇九四〇三 ②三五四四 (代)

節分祭ご案内

新春を迎え、貴家益々御繁栄の段慶賀に存じます。扨て、当大社恒例の節分祭を左記の如く斎行致しますので御参拝下さいますよう御案内申し上げます。

記

一、日　時　昭和五十六年二月三日　午前十時
一、会　場　当大社祈願殿
　　昭和五十六年一月吉日
　　宗像大社社務所

各　位

……

二月三日は、厄除祈願祭を左記により終日執り行います。

記

一、祈願奉斎場　於本殿
一、祈願初穂料　一人　三〇〇〇円
一、授与品　福升一箇（福豆入一合升）・厄除守　一体

以上

賀正

玄界灘の景観を一望出来る
シーサイドの名門一流コース
西日本開発株式会社
玄海ゴルフクラブ
福岡県宗像郡玄海町
電話 〇九四〇六 ②二二三三(代)

新年おめでとうございます

○玄海国定公園の中心……風光明媚……生魚料理……宗像大社からバス五分……神湊旅館組合

あけぼの荘　電話玄海②二二六六番
魚屋旅館　電話玄海②二一二二番
みなと荘　電話玄海②二二五五番
玄海旅館　電話玄海②〇〇〇一番
高嘉旅館　電話玄海②一二二一番
千成旅館　電話玄海②〇三〇〇番
望波亭　電話玄海②一八一一番
千鳥荘　電話玄海②〇〇六八番
大島屋旅館　電話玄海②〇五五五番
喜楽旅館　電話玄海②〇三三三番
松風荘　電話玄海②一〇一四番
友楽旅館　電話玄海②〇二四四番
泉館旅館　電話玄海②〇〇三五番
玄洋荘　電話玄海②二一七二番
川口屋旅館　電話玄海②〇〇四八番
勝浦荘　電話玄海②二四七一番
はま荘　電話玄海②〇五〇〇番